



# 神宮寺便り

平成26年7月  
第11号

発行 普天満山 神宮寺  
宜野湾市普天間1-27-11  
098-892-3335

セミの鳴き声が心地よく聞こえる季節になりました。いよいよ南国の夏がやって参ります。今年、10～11月にユンチチがやって参ります。沖縄では、ユンチチ（閏月）は大事な習慣ですので、今回はユンチチについてお話しします。

ユンチチ（閏月） 良啓

ユンチチとは、旧暦（太陽太陰暦）の13月目の事です。旧暦は月の満ち欠けによって1ヶ月を29もしくは30日とし、1年間で354日になります。

新暦（太陽暦）の365日と比べて11日少なくなり、季節と暦がズれてしまいます。そこで、帳尻合わせの為に1年が13カ月になります。19年間に7回程、ユンチチが行われます。

沖縄では、この閏月の期間はグソー（あの世）からこの世が見えなくなる為、墓や位牌の新築・修繕・移動を行っても、ご先祖様に迷惑が掛からないと言われています。

よく仏事を行う際に六曜や干支が当たらないか確認しますが、ユンチチではこの様な判断が必要ありません。たまに、ユンチチを1年間と誤解されている方が多いですが、実際には1か月間です。お気を付け下さい。

平成26年のユンチチは新暦10月24日（金）～11月21日（金）となっております。

## ユンチチに行われる仏事の例

- ・遺骨・位牌の移動
- ・新墓の建立（開眼供養）
- ・墓・位牌の修繕
- ・古墓・古位牌の発遣供養（マノイ抜き）

上記、ご用命の方はお早めに当寺までご依頼下さい。毎回、ユンチチのシーズンは込み合いますので、早目のご相談とご予約をお勧めします。

## 弘法大師の言葉 裕俊

短みじかきつるべ縄みずの水くをうたがい汲いむいど、疑かをか井かのか濁れ

たるいたにちい懐ゆびきうしお、小はかさかきか指かのか潮はかをはか測る、

猶な底おのきわ極おまもれるもかもとも謂もへり。

三教指帰巻中・虚亡隠士論（定七・五六）

「短い縄のつるべをもって水をくみ、水がすくえなかったからといって井戸が枯れてしまったと疑い、小指をもって海の深さを測り、指が全て入ったからといって海の底に届いたと思い違いをする。だから、道教の最高の教えは人を選び見極めて説かれるという。」

私たちは生きていく上で経験を積み、その経験に従って様々な判断を下していきます。

しかし、経験を重視しすぎて、新しい発見や創造の機会を失ってしまう事があります。1人1人それぞれの違う経験があり、あなたがまだ見ていない世界があるのではないのでしょうか。

それを理解して、他者や自分と向き合っていけば、広い視野をもって生きていくのではないのでしょうか。

### ＊7月の神宮寺＊

7月3日（木） 19時 神宮寺学ぶ会（写経：般若心経） ￥500  
ケツメイシ麦茶をご用意してお待ちしております。

7月5日（土） 10時 お寺 de ヨガ

7月5日（土） 19時 数学の演奏会

### ＊8月の神宮寺＊

8月14日（木） 19時 神宮寺学ぶ会（盂蘭盆会） ￥500

お問い合わせは 892-3335 神宮寺まで